◆ばんどう文芸◆

短歌

急逝の友と最後に語りしはひと月前のこの駐車場駒

潔くポトリとひとつやぶ椿地に落ちて尚春光に映ゆ

指折りて自分の癖を数えたり一つ一つに夫はうなづく

長

須

平田とみい

田

中田

秀子

辺

田

倉持よしえ

跿

内海

妙子

リニ 号呼ないなこう三きそうが伐がしてしたシメ無いる風さやか娘と銀ぶらの弾む日を夏物のカットソー二枚購ふ 辺

岩 八十四年嗚呼そんなにも生き来しか我がしわ肌をしみじみ撫でる

豌豆の莢ふくらめる菜園に「ゆう子ちゃん」と植うるミニトマトのアイコ

井

染谷

厚子

山うどと楤の芽を揚げ竹の子と蕗を煮あげて夕餉の卓へ 神田山 掛 渡辺 木村 愛子

暑いからまだ寒いから言い逃れ伸びし草ども大いばりなり 馬 1 藤森 幸雄

いつの間にのぼりの旗のくさもちがかしわ餅にと季節をつれて

昨日摘みし菜の花今朝は鍋の中黄色浮かびてくるくるまはる

山藤は雑木林の高き樹に薄紫の房を下げたり

中 里 直井 正子

けら鳴けば田植ゑ準備の亡父母を思ひ出したり夕暮れのころ 野田市 染谷 静男

Ш

栗原ヤヱ子

寺

張替みさの

風薫る万蔵院の秘仏展千年の時流れてきたり末孫娘の初出勤を見送れば笑顔で手振る我と緑と

平八新田 吉岡 耿

短歌の作品を募集します!(応募先は市役所秘書広報課です)

投稿される方は、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、**掲載希望月の前月20日までに届くように**市役所 秘書広報課「ばんどう文芸」担当宛にお送りください。

※掲載する短歌は複数人で選考させていただきます。また、掲載の際に選考者による添削が入る場合があります 〒306-0692 坂東市岩井4365 秘書広報課「ばんどう文芸」担当 ©0297(20)8265

16